

本格的に夏季訓練開始



目標地域に前進する10式戦車



第763号
令和2年6月30日

要望事項
成必
北方総監

発行：北部方面総監部広報室



84mm無反動砲で敵戦車を照準する隊員



普通科隊員とともに攻撃前進する戦車



新型コロナウイルス対策を万全にした訓練統裁



障害処理する隊員

約3,000人が参加しての大規模交戦訓練

機械化部隊戦闘訓練評価支援センター方式による訓練

ACIITESC

方面隊は、6月2日（前田陸将）が統裁官、から17日までの間、北海道大演習場恵庭・千歳地区において、機械化部隊戦闘訓練評価支援センター方式による訓練（ACIITESC）を実施した。本訓練は、方面総監

（前田陸将）が統裁官、第7師団長（中村陸将）が担任官兼副統裁官となり、各師・旅団から諸職種部隊が配属等された増強戦車中隊や増強普通科中隊が参加し、隊員や車両に交戦訓練用装置を装着して、対

抗方式で行われた。訓練に参加した各部隊は、諸職種を組織化した総合戦闘力を最大限に発揮し、所望の成果を収めて本訓練を終了した。



車両巡察



入門証の確認



警衛隊歩哨

派遣海賊対処行動支援隊の活動

新型コロナウイルス対策を万全に任務遂行中

アフリカ東部のジブチ共和国において、第13次派遣海賊対処行動支援隊の一員として派遣されている第2師団基幹の要員が、活動拠点の警備・基盤維持等の任務に就いて6か月が経過した。ジブチ共和国でも、

新型コロナウイルス感染症発生しているが、アフリカの酷暑にも負けず、対策を万全にして、一人の感染者も出さず任務を遂行している。

引き続き、ソマリア沖でのシーレーンの安全確保に貢献していく。

第5旅団総合戦闘射撃訓練

実戦的な状況下で訓練

第5旅団(旅団長 小瀬陸将補)は、6月4日から21日までの間、北海道大演習場及び白別演習場において総合戦闘射撃訓練を実施した。

本訓練には、旅団隷下の第4普通科連隊、第6普通科連隊、第27普通科連隊、第5特科隊及び第5戦車大隊並びに第1特科団及び北部方面航空隊が参加した。

各部隊は、諸職種部隊間における火力調整、目標情報に依じた迅速な火力の指向及び実弾射撃と連動した部隊指揮を主要演習項目に、旅団の各種火力の組織化を図り、諸職種部隊の総合された火力発揮要領を練成し、所望の成果を得て訓練を終了した。



87式対戦車誘導弾の射撃



普通科隊員と戦車による攻撃



155mm自走りゅう弾砲の射撃



戦車と航空機による射撃

第1次第3施設団 集中野営訓練

部隊行動の練度向上

第3施設団(団長 浅賀陸将補)は、5月22日から6月12日までの間、第1次第3施設団集中野営訓練を実施した。部隊以下の練成を向上させた。



軽門橋の運航



陣地構築訓練



81式自走架柱橋の架設

ドアガン射撃訓練

航空機からの機関銃射撃能力の向上



航空機からの実弾射撃



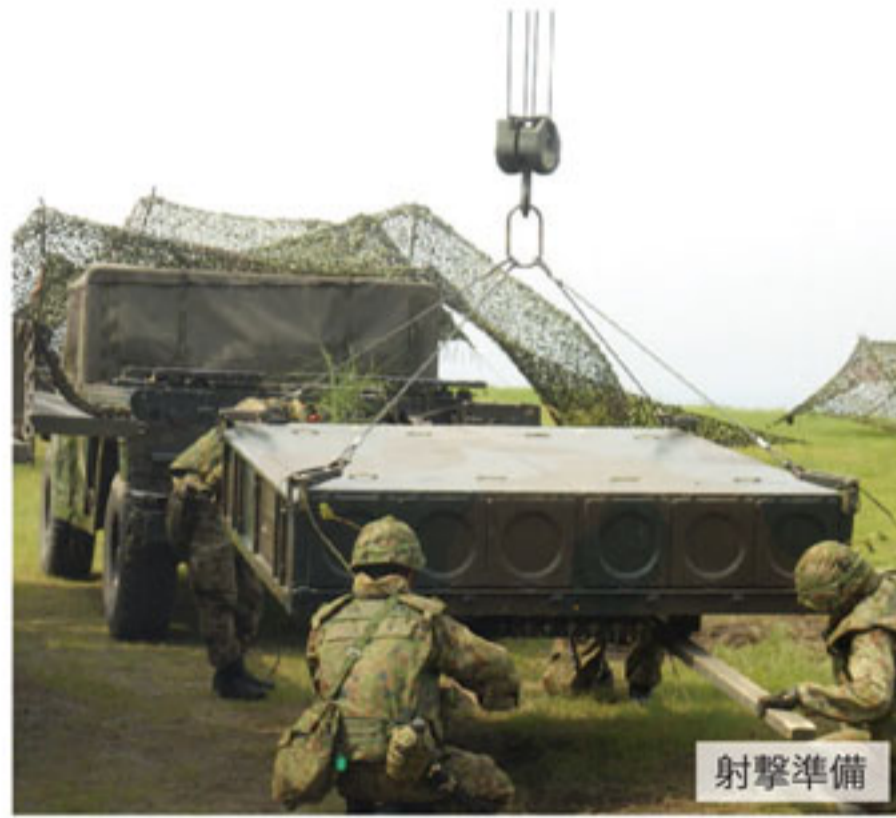
射撃姿勢の点検

方面隊は、6月6日から19日までの間、静内対空射撃場においてドアガン射撃訓練を実施した。訓練は、各師団、第11旅団及び北部方面航空隊が担任し、12.7mm重機関銃等を搭載した多用途ヘリコプター(UH-1)を使用して、ホバリング射撃及び移動間射撃を行い、航空機からの機関銃射撃能力を向上させた。

対舟艇射撃訓練

鹿児島県佐多射撃場において実射

第2師団(師団長 森下陸将)は、6月1日から15日までの間、鹿児島県の佐多射撃場において、96式多目的誘導弾システムによる対舟艇射撃訓練を実施した。本訓練には、師団隷下の第2対舟艇対戦車中隊が参加し、上富良野駐屯地から鹿児島県まで約1,300キロ、4日間をわたる長距離機動に引き続き、射撃場において移動目標及び臨機目標への戦闘射撃を行い、対着上陸戦闘時の部隊の機動展開能力及び対舟艇射撃能力を向上させた。



射撃準備



96式多目的誘導弾システムによる射撃

北部方面隊演習場春季定期整備

北海道の道場化を推進
人員約11,000名、
車両約3,300両が参加

方面隊は、5月7日から16日までの間、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を万全にし、北海道大演習場、矢白別演習場、上富良野演習場、然別演習場及び鬼志別演習場等において、北部方面隊演習場春季定期整備を実施した。
各部隊は、それぞれの演習場に展開し、装軌車道新設、通信基盤整備、小銃戦闘射場整備、総合戦闘射場の弾薬置場強化等、演習場の機能を充実・拡充する充実整備及び弾着地、溜めます、装輪車道整備等、演習場の機能を回復・維持する維持整備を実施した。
これらの整備を通じて、本格的な夏季訓練の開始に向けた基盤の整備を完了するとともに、引き続き、中期整備計画に基づき、北海道の「道場化」を推進していく。



装軌車道新設 (然別演習場)



弾薬置場強化 (北海道大演習場)



小銃戦闘射場整備 (鬼志別演習場)



通信基盤整備 (上富良野演習場)



装輪車道整備 (矢白別演習場)



溜めます整備 (矢白別演習場)



不発弾搜索 (北海道大演習場)



ロープ橋訓練

第2師団(師団長森下陸将)は5月13日から、第11旅団(旅団長酒井陸将補)は5月11日から、それぞれレンジャー集合教育を開始した。



体力調整

本教育は、主として遊撃行動等の困難な状況を克服して任務を遂行する能力及び精神力を付与することを目的に実施される。厳しい素養試験を突破した隊員は、ダイヤモン



空路潜入訓練

破した隊員は、それぞれ教育を担当する第2師団隷下の第26普通科連隊及び第11旅団隷下の第18普通科連隊において、体力調整、山地潜入、空路潜入、水路潜入、潜伏・偵察行動等の基本的教育の後、各種想定訓練を行う。

師団・旅団レンジャー集合教育



レンジャーき章を
目指し
過酷な訓練に挑む



催涙ガス体験



戦闘訓練



小火器射撃訓練

方面隊は、この春入隊した一般陸曹候補生及び自衛官候補生に対し、3か月に及ぶ前期教育を全道各地で実施した。

自衛官としての基本的な知識・技能の修得

一般陸曹候補生前期及び自衛官候補生課程教育

新隊員は、基本教練、戦闘訓練、小火器射撃、体力検定などさまざまな訓練が行われる中、同期と切磋琢磨して日々遅しなくなり、4月から見違えるほど心身ともに成長した。
今後、新隊員は、各職種部隊での後期教育に臨み、更に成長して一般部隊で勤務することになる。

袴腰山慰霊登山

4柱の冥福を祈り献花

北部方面航空隊(隊長 廣瀬1佐)は、5月15日、平成29年5月に発生した、LR-2墜落事故の現場である函館市袴腰山において慰霊行事を実施した。慰霊行事には、方面総監(前田陸将)をはじめ、多くの隊員が参加し、故人を偲ぶとともに、二度と航空事故を発生させないとの思いを堅持し、航空安全を誓い、事故発生時刻の11時48分に合わせ、黙とうを行った。



献花を行う総監

～心の健康相談室～

人生に潤いを与える言葉

第204回

日既に暮れて、而もなお烟霞灼爛たり。歳時に晚れんとす。故に末路晩年は、君子更に宜しく精神百倍すべし。

(「菜根譚」前集・196)

即ち「日がすでに暮れても、なお夕映えは美しく輝いているし、歳がまさに暮れんとするとき、人生の生き方をよく心得ている人は、残りの歳月を充実して晩年には、いっそう精神を奮(ふる)い立たせなければならない」というのです。

つまりここでは、「晩節を全うする」ことの大切さを説いているのではないのでしょうか。

心の健康相談・カウンセラー 根本和雄

なりたい仕事がある ～自衛官募集～

令和2年度自衛官等採用案内



Table with 4 columns: 募集種目, 受付期間, 試験期日, 合格発表. It lists various recruitment categories such as 一般幹部候補生, 医科・歯科幹部, 航空学生, 一般曹候補生, 自衛官候補生, 防衛大学校学生, 防衛医科大学校医学科学生, 防衛医科大学校看護学科学生, 陸上自衛隊高等工科学校生, 貸費学生, and 予備自衛官補.

国家を守る、公務員。

自衛官採用試験

受付中

さまざまな職種・専門分野で活躍する自衛官を募集しています。

ご家族・ご親戚・ご友人などで、自衛官になりたい方や興味がある方がいらっしゃいましたら、お近くの地方協力本部に情報をお寄せください。

一般曹候補生と自衛官候補生の採用年齢は 18歳以上 32歳以下です！

◆他の種目や詳しい内容は最寄の自衛隊地方協力本部へお問い合わせください。



札幌地方協力本部 011(631)5472



旭川地方協力本部 0166(51)6060



帯広地方協力本部 0155(23)5882



函館地方協力本部 0138(53)6241

*新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、一部日程が変更されています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から試験日程が変更となる可能性があります。最新の試験日程はお近くの自衛隊地方協力本部にお尋ねください。



北部方面隊 Webサイト

パソコンからはこちら https://www.mod.go.jp/gsdf/nae/index.html

訓練動画、北部方面隊カレンダー、広報紙「あかしや」等をご覧いただけます。



北部方面隊の部隊及び隊員の活動状況をぜひご覧ください。

編集後記

6月に入り、本州では梅雨入りとなり、梅雨が降り、北海道でも、ぐずついた日が多くなると、「蝦夷梅雨」の時期となりました。気温・湿度が高い中、マスクを着けることが辛い時期となってきましたが、冷感タイプや通気性が高いものなど、夏用のマスクが数多く販売されているのを見かけます。夏に向けて開放的になりがちですが、夏用のマスクなどを活用して、「新北海道スタイル」を守り、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めましょう。